

ことわざから考えるジェンダー

—南アフリカ・グリクワの人々が教えてくれること—

海野るみ

はじめに

「お前の子どもはグリクワの賛美歌をうたいながら生まれてくるぞ。」

それは、報告者の妊娠を知って初めて下宿先の主人のサミーが口にした、以前には聞いたことのない「ことわざ」の類の表現だった。

「グリクワの赤ん坊は賛美歌をうたいながら生まれてくる」というのが、サミーのことばの原形となることわざである。南アフリカ共和国西ケープ州にあるグリクワの人々の集落に、「グリクワのことを学びに来た人」として受け入れられた報告者は、それまでも様々な事を教えられた。が、母親となった後に教えられたことわざを含む事柄は、以前とは異なる社会の側面を映し出すものだった。

本報告では、グリクワの人々が教えてくれた「グリクワのことわざ」を通してみえる、彼らの社会的関係性及びジェンダーのあり方を明らかにする。

なお、本報告で「グリクワのことわざ」として取り上げるのは、彼らが「ことわざ saying, proverb」として教えてくれたことばであるが、それらのなかにはグリクワの人々にとっての予言や言い伝えも含まれる。

ことわざからみえるグリクワ社会

まず、幾つかのことわざを示し、グリクワ社会における母と子の関係性、女性や男性の位置づけについて読み解く。

(1)「子どもはグリクワの母親に育てられてグリクワになる」

グリクワの人々は、「子どもはグリクワの母親に育てられてグリクワになる」という。また、「母親は赤ん坊に授乳する時、その乳に賛美歌をうたい込む。やがて子どもがことばを話し始めると、その子はすでに・・・賛美歌をうたうことができる」ということわざもよく語られる。これらのことわざは、子どもを育てる際の母親の役割を強調するものである。ここでいう「母親」は「娘」との対比で語られ、「グリクワの娘たちをよいグリクワの母となるよう育て導くのはグリクワの母親たちの責任」とされる。

また、母と子の関係は、必ずしも血縁関係を意味しない。前述のように「グリクワの子どもは賛美歌をうたいながら生まれてくる」という先天性を示唆するようなことわざもあるが、彼らはグリクワであるか否かを生まれによって決定されるものとは考えない。子どもは「グリクワになる」のであり、その育ちに密接にかかわるのは授乳時にも賛美歌をうたい込んで育てる母親である。実際に、グリクワ以外の父母から生まれた子どもを引き取

って育てる例が多くみられる。そうしてグリクワの母親によって育てられた子どもは、グリクワの社会の一員となる。

(2)「未婚の母親たちがわれわれを救う」

グリクワの特徴的なことわざの一つが、「未婚の母親たちがわれわれ(グリクワ)を救う」というものである。これはグリクワの予言者による予言の一部を、人々がことわざとして口にするものである。予言者は「未婚の母親たちがその日を取り戻すだろう」と言ったと伝えられる。グリクワの人々は、南アフリカの社会的な混乱の時期に起きる紛争や騒乱のなかでも、グリクワは未婚の母親たちに護られて無事に生きられるという意味だと語る。また、理由として未婚の母親たちが「困難を知る人たち」だからだと伝える。

このことわざは、グリクワの社会が未婚の母親たちを、社会的な役割を有する存在として位置づけることを示す。実際に、未婚のまま出産し育児を行う母親や離婚によってシングルマザーとなる女性も多いが、彼女たちやその子どもたちが、未婚であることによって、社会的に差別化されることはない。

一方で、男性やその立場等に関連したことわざを耳にすることはあまりなかった。そのなかで特徴的なのは、「男性には罪があるので、結婚しなければならない」というものである。予言者は勤勉に働き、生活の糧を持ち帰って、各人の家庭のみならず、「家」としての社会を潤すことが、グリクワの男性の果たすべき役割だと伝えた。男性に関することわざは、倫理観を投影して男性の態度や行動を規範づけるものといえる。

ことわざからみえるグリクワのジェンダー

グリクワの人々が報告者に教えてくれたことわざからは、男性と女性の直接的な関係性はみえにくい。しかし「母親」と「勤勉に働き生活の糧をもたらす」というそれぞれの社会的役割は明示されている。その背景には「家」としての社会の隠喩的位置づけがある。

また、これらのことわざから、女性が子どもとの関連で位置づけられ、社会的に認識されることがわかる。女性は、育てることを通じて子どもと関連する。女性は子どもを育てることで娘から母親になり、子どもは育てられることでグリクワになる。母親と子どもとは双方向的に補完し合って、それぞれの社会的位置を獲得する。母親の「子どもを育てる」という役割は、その社会的位置づけにおいても「娘たちを教え導く」役割として表れる。

さらに、ことわざによって未婚の母親は社会的に認知され存在意義を与えられていることがわかる。このことは同時に、母親の婚姻関係が女性の母親としての社会的位置づけには影響を与えないことを示す。

おわりに

最後に、グリクワの社会においてことわざが果たしている役割をまとめておきたい。

前にも述べたとおり、男性に関することわざには、男性が社会において期待される態度

や行動規範が示されている。男性は結婚し、それぞれの家庭や「家」としての社会に生活の糧をもたらすべく働くことが期待されるが、実際には失業率が高く、そのために結婚できない人たちも多い。

一方、女性に関することわざは、女性たちの日常の実態と一致する部分が多く、実態の社会的認知や肯定を担うものとなるといえるだろう。